

子どもたちが作った坂るた

坂の模様や特徴を何かに見立てた坂るた

みずたま坂

魚の骨坂

そうじ坂

ケーキ坂

音楽坂

麒麟坂

坂をたんけんして
かるたをつくってあそぼう
〜自分たちのまちがもっと好きになれる〜

開催日：2018年11月11日
開催地：新宿区中井～西落合周辺

「坂」に着目してまちを歩き、子どもの視点から坂に新しい名前をつけて“坂るた”をつくる。この“坂るた”は、子どもが坂を通して見つけたまちの風景を表し、まちの魅力を発見するツールとなる。まち歩きとかるた遊びを通して地域への愛着を促すことを目的にしたワークショップ

その1
まちの坂を
たんけんしよう！
坂の素敵なところを
見つけて写真をとろう
坂の名前を考えてみよう

その2
オリジナルの
かるたをつくろう！
撮った写真をつかって
坂るたをつくろう

その3
「坂るた」で
あそんでみよう！
みんながつくった坂るた
で楽しくあそぼう

ワークショップの流れ

【当日のスケジュール】

9:45 受付開始
10:00 開会式・WS 説明
10:15 アイスブレイク
10:30 まち・坂歩き
12:00 昼食休憩
13:00 かるた作成
14:00 かるた大会
15:00 まとめ・閉会式・記念撮影
15:30 解散

公園
↓
まち
↓
児童館

【まち歩きマップ】
まちの中の坂を子どもが選んで歩きます。
坂は坂の上から見たり、下から見たり、途中で見たりして
色々な坂の風景を見て、気に入った場所でのかるた用の
写真を撮ります。

（赤い線が坂）

【概要】
参加者：小学生11名、未就学児1名、保護者5名
地域のボランティア2名（まちの歴史などを歩きながら解説してくださいました）
スタッフ：25名（そのうち本部として全体把握：2名、印刷班：3名）

用意するもの

- ・かるた本体用：A4シールプリントシート、A5厚紙（取り札）、A6カラー用紙（読み札）
- ・かるた装飾用：ボスカ、シール、マスキングテープ
- ・写真関連：スマホ（カメラ）、パソコン（写真データ取り込み）、プリンター
- ・まち歩き：探検マップ（スタート～ゴールエリアと坂を表記してます）、画板



最後は作ったかるたを持って集合写真

《まちの坂探検》

チームに分かれて自分たちで坂を選んで探検し、坂の名前を考えながら、
取り札となる坂を選んで写真を撮ります。



1チーム子ども3～4人、大人7～8人で
3チームに分かれて探検します。



いろんな角度から自由に写真を撮る子ども
坂を体全体で体験している子どももいました。



子どもたちには坂マップを用意して地図として利用したり、歩いた坂のメモや坂の名前の候補などを書き残す。



スタッフのスマホで写真を撮り、本部に写真を送る。
本部ではA4シールプリント用紙に写真を2枚ずつ印刷。



左の写真に写る子どもが撮った写真

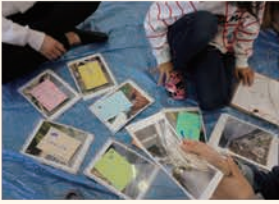


《坂るたづくり》

プリントされた写真に名付けた由来が分かるようにボスカやシールなどで装飾を
した取り札と、坂の名前を書いた読み札を作り、かるたセットを完成させる。



【取り札】プリントされた写真からかるたにしたいものを選んで厚紙に貼り、
ボスカやシールなどで装飾をして取り札を作る。A5サイズ



【読み札】考えた坂の名前やその名前の由来などを用紙に書いて、
取り札と同じように装飾をし、読み札を作る。A6サイズ



完成した坂るたの例



坂の名前の由来も書いている読み札もあります



《坂るた大会》

作った坂るたを持ち寄り、グループを変えたり読み手を変えたり、いくつもの
ルールにそって、みんなでかるたで遊ぶ。今回はWSでは3回戦実施しました。



【1回戦】2グループに分かれ、自分の札を自分で読みます（読み手はかるた製作者）
誰かがかるたを取ったら、なぜその名前にしたのかかるたの紹介をします。



【2回戦】グループを変えて、読み手はスタッフが担当。今回は自分の札を取ってもいいというルールで行います。



【3回戦】自分のお気に入りのかるたを2枚持ち寄り、子ども全員で遊びます。読み手はスタッフが担当
この回では、みんなの前でお気に入りの札の紹介も行います。